

みずほCustomer Desk Report 2017/02/14 号(As of 2017/02/13)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	113.95 AUD/USD
TKY 9:00AM	113.94	1.0619	121.00	1.0044	1.2485	0.7670
SYD-NY High	114.17	1.0658	121.15	1.0069	1.2539	0.7688
SYD-NY Low	113.44	1.0592	120.42	1.0021	1.2480	0.7630
NY 5:00 PM	113.74	1.0599	120.56	1.0057	1.2527	0.7640
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	11.055/11.405		25RR	0.223	Yen Call Over	
NY DOW	20,412.16	142.79	債券市場	日本2年債	-0.2020	0.5bp
NASDAQ	5,763.96	29.83		日本10年債	0.0930	0.1bp
S&P	2,328.25	12.15		米国2年債	1.2017	1.2bp
日経平均	19,459.15	80.22		米国5年債	1.9147	2.8bp
TOPIX	1,554.20	7.64		米国10年債	2.4358	2.8bp
シカゴ日経先物	19,540	180.00		独10年債	0.3310	1.1bp
ロンドンFT	7,278.92	20.17		英10年債	1.2930	3.7bp
DAX	11,774.43	107.46	為替市況	豪10年債	2.7050	0.9bp
ハンセン指数	23,710.98	136.00		USD/CNH	6.8741	0.0107
上海総合	3,216.84	20.14	商品市況	ドルインデックス	100.99	0.19
USDJPY 3M Vol	12.28	▲0.05%		CRB指数	192.060	▲1.98
USDJPY 6M Vol	11.73	▲0.09%		NY金	1,225.80	▲10.10
EURJPY 3M Vol	13.60	0.05%		WTI	52.93	▲0.93
EURJPY 6M Vol	12.64	▲0.13%		Dubai Spot	54.20	▲0.26

東京	週明けのドゥー時間に113.45をつける局面があったものの、週末の日米首脳会談はトランプ米大統領から円安批判が出ることなく無難に通過したとの見方が広がる中、ドル円は113円台後半から後半で堅調推移。東京時間オープン前に発表された本邦第4四半期GDPは前期比年率+1.0%と予想(同+1.1%)を下回ったものの、前回値が上方修正されるなど強弱混在の結果となり市場の反応は限定的。斯かる中、東京時間のドル円は113.94レベルでオープン。日経平均株価が高寄りしたことや実需勢によるドル買い期待があり、114.17の高値まで上昇。但し、一段と上値を追う展開とはならず113円台後半を中心としたレンジ推移となる。午後には日経平均株価や米金利の上値が抑えられる展開にじりじりと弱含んで113.63まで下落。結局、ドル円は113.66レベルで海外に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、113.66レベルでオープン。日米首脳会談は無難に通過したものの、一段高の材料欠く中、ドル113円後半で伸び悩み展開。一旦は安値113.44まで下げる局面があったものの下落は続かなかった。その後、帰国した安倍首相がテレビ出演し、自動車貿易やTPPを巡って米側から一定の理解を得たことを強調したが、特段のサプライズとはならなかった。結局ドル円は113.72レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2512でオープンし、小動き。OPECがOIA等の非加盟国と協調し減産合意した結果、1月の産油量が大幅に縮小し、上限目標を下回ったことが明らかとなると、1.2539まで小幅に買われ、1.2519レベルでNYに渡った。(ロンドン・ロフリー 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	海外時間のドル円は主に113円台後半での推移となり、113.72レベルでNYオープン。朝方は重要な米経済指標の発表が予定されていない中、ダウが高く寄り付き日中最高値を更新すると114.06まで上昇。しかしこの水準では東京時間高値の114.17が意識されたことや、翌日にイレブンFOMC議長の上院議会証言を控え、積極的に上値を追う展開とはならなかった。その後米長期金利が横ばいでの推移となったことや、リグ移動数が2015年10月以来の高水準となったことから米国内での原油生産拡大懸念が強まりWTI原油価格が下落したことからドル円は113.55まで下落。日中はトランプ大統領とトルド・カダ首相との会談で「両国の深い関係を確認」した他、NAFTAに関する再調整で両国は合意したものの、大きな調整はないとの見方から市場への影響は限定的となった。結局ドル円は113.70を挟みでの推移が続き113.74レベルでクローズした。一方ユーロドルは1.0632レベルでNYオープン。朝方は米長期金利の小幅上昇を受けて1.0592まで下落。しかし新規材料に欠く中、積極的に下値を追っていく展開とはならず1月中旬以来となる1.05台ではユーロ買い意欲も強く、1.0599レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当：高田・坂本

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月13日	8:50	日	GDP(年率/前期比)・速報	4Q 1.0% 1.1%

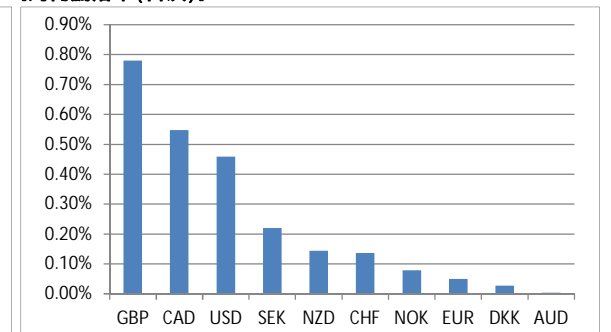
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月14日	10:30	中	CPI/PPI(前年比)	1月 2.4%/6.5% 2.1%/5.5%
	13:30	日	鉱工業生産(前月比/前年比)・確報	12月 -/- 0.5%/3.0%
	16:00	独	GDP(季調済・前期比/前年比)・速報	4Q 0.5%/1.8% 0.2%/1.7%
	16:00	独	CPI(前月比/前年比)・確報	1月 -0.6%/1.9% -0.6%/1.9%
	16:00	独	EU基準CPI(前月比/前年比)・確報	1月 -0.8%/1.9% -0.8%/1.9%
	18:30	英	CPI(前月比/前年比)	1月 -0.5%/1.9% 0.5%/1.6%
	19:00	独	ZEW調査(現状/期待)	2月 77.0/15.0 77.3/16.6
	19:00	欧	GDP(季調済・前期比/前年比)・速報	4Q 0.5%/1.8% 0.5%/1.8%
	22:30	米	PPI最終需要(前月比/前年比)	1月 0.3%/1.5% 0.2%/1.6%
	22:50	米	ラッカー・リッチモンド連銀総裁 講演	- - -
2月15日	0:00	米	イエレンFRB議長 講演	- - -
	3:00	米	カプラン・ダラス連銀総裁 講演	- - -
	3:15	米	ロックハート・アトランタ連銀総裁 講演	- - -

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	113.00-114.50	1.0550-1.0650	120.00-122.00

【マーケットインプレッション】

昨日の海外時間のドル円は113円台後半を中心に、もみ合い推移。欧州時間には日経平均先物が売り先行でスタートしたこと等が嫌気され113円台前半まで値を下げたものの、その後、トランプ政権による減税策への期待感を背景とする株高債券安の展開にドルが買い戻された。本日はイエレン議長による半期に一度の議会証言が予定されており、東京時間のドル円は様子見ムードから方向感に乏しい展開である。イベント前のポジション調整につき一時的にドル/円が売り込まれる場面もあるが、3月FOMCでの米利上げ期待も一部残っており、下値も限定的であろう。